

未来型図書館の「いま」をお伝えします！

みんなで作る未来型図書館



ニュースレター vol.6

未来型図書館ができることで、小松のまちや暮らしをより良いカタチに！みなさんとの「対話」から未来型図書館の姿が浮かび上がってきています。これからも対話のムーブメントを巻き起こし、市民と共に創り続けていきます！

策定委員会

10月25日に第3回、12月12日に第4回基本構想策定委員会を開催しました。

未来型図書館のビジョン「こまつを編む。こまつを巡らす。」と3つのコンセプト

「人の営みや情報の核となる拠点」「持ちより共有し、出会う場所」「ともにづくり、育む場所」は、つながるミーティングの対話から見えてきた言葉です。

施設が担っていく機能や立地候補エリア、事業手法等の検討とあわせ、今年度中に基本構想としてとりまとめていきます。



公立小松大学の学生も多数参加！

つながるミーティング

12月10日に第4回つながるミーティングを開催し、子どもから大人まで約50名が参加しました。「未来型図書館を通して、まちなかでどんな体験ストーリーが生まれるか」という妄想ストーリーを考えました。「学校との学びのつながり」「知る体験を広げる仕掛け」など、一人一人が想像を膨らませながら、参加者同士で想いを共有しました。

みなさんの妄想ストーリーは、未来型図書館の機能の検討に活かしていきます！



応援をお願いします！

本と人をつなぐリーダーに！

子ども司書クラブ

9月からの「子ども司書養成講座」を修了した小学生13名が集まって、「こまつ子ども司書クラブ」を結成！12月17日の企画会議では、「図書館を明るく楽しくしよう」「本の面白さを知ってもらおう」といった活動目標や活動内容を考えました。毎月1回集まって図書館を盛り上げていきます！



第1期生が誕生！

みんなで作る未来型図書館

リレーエッセイ

第6回目は尾木沢響子

空とこども絵本館長です！

空とこども絵本館の顧問を引き受けてくださっていた松居直氏が、11月2日に逝去されました。16年前の2月、建設途中の絵本館の中で、松居氏は「いい絵本館になりますよ。これまでにない新しい絵本の図書館にしましょう」と、それは朗らかな声でおっしゃいました。そこから、松居氏と絵本館との交流が始まりました。幼児は、自身にとって大切な存在である大人が語る言葉によって豊かな感性を獲得します。言葉は人と人とを結ぶものであり、絵本はそのためにある……。こうした「松居語録」が物語るのは、会話を重視する氏の姿勢でした。

松居氏がよく口にした「なるほど」「そうですね」という優しい相槌によって、人は自分の思いを語りたくなったり、他の人の話に耳を傾けたくもなりました。そんな人たちが、絵本館のボランティアとなり、あるいは松居氏から寄贈されたコレクションを次世代に受け継ぐためのグループを作って、絵本館を支えています。開館から16年が過ぎた今も、みんなが集まって意見を出し合い、一つのものを作り上げる姿勢は変わりません。松居氏から寄贈を受けたのは、絵画や貴重な書籍だけではない、こうした成長のエネルギーであることを実感する日々です。

新しい図書館を作るためには、それぞれが自分の内の思いを確認することが必要だと思います。どんな図書館にしたいのか、そのために、自分は何かができるのか、など。会場で語られる言葉を聴きながら、私も自身の求める図書館のありかたを見つめるようになりました。語り、耳を傾けて、つながっていきたく考えています。



尾木沢響子 館長

お知らせ



未来型図書館に関する様々な情報は、市ホームページやInstagram等で発信中！

Instagram 市HP

